

平成三年度文学部卒業論文題目一覧

哲 学 科 (I部)

達成動機と自己概念に関する一研究	田中徳之	フォイエエルバッハの宗教批判について	右田 剛
態度の類似性が対人魅力に及ぼす効果について	大野 知昭	極化現象についての一考察	松尾 由希恵
労働と疎外の研究	荻野 哲也	文章記憶に関する一研究	田口 幸生
サークル活動におけるリーダーシップ行動の一研究	吉田 真吾	商品とカラーイメージの関連についての一研究	明石 孝宏
男性性・女性性の期待に関する一研究	相沢 広樹	人類は必ず絶滅する運命にあるということについて	竹内 研二
M・ハイデッガーの研究	吉田 正宏	対人魅力と態度の類似性について	荒谷 和昭
社会的促進に関する一研究	田中 秀雄	印象形成における情報統合過程の一研究	石川 尚子
E・フロムの研究	山岡 均	性格における自己評価と他者評価の差異	井出 昌
知覚的学習に関する一研究	大場 清子	ロマンチックパートナー選択の一研究	西原 哲也
性格の類似性と対人魅力の一研究	野沢 禎之	ジョン・ロックの哲学思想	関 秀之
性役割の認知	山口 真理子	ニーチェ哲学について	川野 潤
現代における疎外概念	井上 朱美	生き続けるための哲学	山本 聡
印象形成過程に関する一研究	高橋 綾子	『物質と記憶』をよむ	赤堀 功
教育の理念についての一試論	永嶋 正久	ルー・ザロメとニーチェ	岩崎 恵美
労働における人間の疎外およびその克服	山下 和人	疎外された労働について	鷲尾 徹
印象形成についての一研究	佐々木 としえ	態度変容に関する一研究	井上 初美
		マルクスの思想における経済学	直井 慶一郎

フォイエエルバッハの人間学における情念・愛について	一本嶋 英俊	ニーチェ哲学についての一考察	月岡 将
記憶の処理水準に関する実験的研究	飛田 大祐	態度変容に関する一研究	鈴木 健美
再生と再認に関する一研究	丸田 功介	ニーチェの超人思想に関する一考察	寺岡 孝純
デュローイのプラグマティズム	小林 覚	心理的ストレスに関する一実験的研究	森 健二
R・デカルトの哲学に関する研究	都築 昌典	近代市民社会の思想	山根 和美
錯視に関する実験的考察	島田 健一郎	労働における疎外の変革について	田村 隆
社会的自己に関する一研究	小坂橋 知子	自己開示についての一考察	今西 一晴
人間の労働と疎外の問題について	山本 英司	日本の近代公教育における問題	柳田 朋子
ワイマール共和国と現代日本	大越 裕之	近代文明批判の一考察	篠田 浩一
大学生における自己開示性の一研究について	高橋 久美江	ニーチェにおける「生」についての一試論	松原 誠
対人関係レベルのあたえる印象形成効果	豊田 直子	現代の労働と疎外について	栄 憲彦
親和欲求についての一研究	田代 聡	原因帰属に関する一研究	細 萱 英雄
F・ニーチェにおける「生」についての一考察	石和一寛	キリスト教研究	増山 利樹
ニーチェについての一考察	御園生 崇	シュルレアリスムの一考察	宮沢 明子
カント哲学の一側面	内山 平吾	不安と親和傾向の関連性についての一研究	高橋 もえ子
空の科学思想史	岡田 章	態度変容に関する一研究	廣瀬 美穂
現代のスポーツ哲学	大井 理江子	はしの持ち方とフーコー	高橋 憲昭
時間について	秋葉 裕美	注意集中におよぼす達成動機の影響について	小岩 慎
カント哲学の一考察	佐々木 智之	自然と人間	新飯田 あゆみ
		達成動機と親和動機に関する一研究	小林 誉
		史的唯物論について	山田 卓也

文学部卒業論文題目一覧

達成動機に関する一研究	荒井愛仁	視覚的探索における一実験	田中哲人
偶発学習に関する一研究	鈴木勲	商品イメージとキャラクター・イメージの関連性	
リハーサル効果に関する一研究	斎藤敦子	図形認知の発達における一研究	深澤順一
S・キルケゴール研究	中村晃彦	近代から現代における疎外について	清水賢治
AIと哲学について	渡辺真也	F・ニーチェ研究	河原賢司
達成動機における一研究	菊本将之	ヴァレリーのデカルト観	山崎真一
マルクスの疎外論について	萩本佳久	現代労働における人間疎外についての一考察	八木裕行
原因帰属と無力感についての一研究	田村美和子	マルクス主義から見たキリスト教	太田洋一
ドゥールズの思想	和田充弘	ハンドテスト検査に関する一研究	平沢真一
記憶の変容に関する一考察	宇津木健二	記憶再生に関する一考察	阿部一
葛藤に関する一研究	田村英徳		植田洋之
現代資本主義における人間の問題	関根英人		
ユング思想の一側面	篠原聖人		
高齢者の生活形態と適応	木村優子		
向性に関する一考察	相馬圭二	史学 科 (I部)	
記憶再生に関する実験的研究	渡辺孝之	「法興」年号の研究	谷田部賢二
ストーリーリズムとその後	八柳広和	「大唐西域記」から見た西域及び印度	井上寛隆
幕末の思想家吉田松陰について	川村孝	元と朝鮮の関係	河田竹次郎
科学と哲学	池田昇司	関東における古墳時代の石製模造品について	石渡正年
シェリング研究―美的なものから宗教的なものへ―	浅野秀樹	江戸時代における縁切寺について	長田久美子
ロックの自由論	星野就久	斎宮寮の基礎的研究	福田理恵
		中国古代における官人登用法について	永井保行

副葬品より見た南関東古墳文化の一考察	藤田真弓	江戸時代墓制の一考察	朝原久子
甲斐武田氏の領地政策	小林英雄	縄文時代中期の成立過程について	野代幸和
中国古代の土地制度について	豊田和彦	関東地方における群集墳の一樣相	山形美智子
前方後円墳の成立についての一考察	木村伸介	アマルナ宗教改革	見川律子
中世の非人について	藤田久美	清末の行政改革と民衆暴動の関係	山崎三枝子
享保改革の研究	谷内敏美	一八世紀の二人の女帝	増田直美
伊勢神宮の成立について	門脇慶	東北北部における弥生文化性格論	小保内裕之
鹿島、香取の神と中臣氏について	窪田由紀子	常総における宝篋印塔について	塚越里子
近江遷都について	稲田里織	南海交易路の発展について	大沢義章
万言書にみる王安石の人間像	菊池雄二	房総地方における古代の墓制	松田富美子
臨時政府とポリシェヴィキ	久保真理	ヘンリー八世の宗教改革	安藤有紀子
継体天皇の崩御年と辛亥の変について	佐藤仁	秦氏に関する基礎的考察	石塚陽子
宋代における都市と都市生活について	中村順一	元末明初の朱元璋と地主・農民について	池上哉
弥生時代の農耕技術について	河崎真也	エジプト古王国の特質	平井香利
富山藩の売薬について	寺西里江	古代ギリシアの宗教について	立野由美子
近世後期三浦半島南部農漁村における庶民の生活と信仰について	中村裕生	諸葛亮北伐についての一考察	明星章人
縄文時代の農耕の存否について	富永さとみ	大后の称号とその地位について	小林久実
漢代の農民反乱について	金谷明一	戊辰戦争の歴史的意義	前田奈己
尊王攘夷運動の思想とその動向	井上直子	織田政権における一職支配	北川稔
近世中期における江戸町人の生活	後藤美和	ペルシア戦争とアテーナイ	益子欣子
水戸学の研究	鬼沢博典	奈良時代初期の皇位継承と藤原不比等の関係について	近藤奈津子

文学部卒業論文題目一覧

南関東における古代の火葬墓	倭	由香里	源氏三代と北條氏について	田畑	晋一
武周革命の研究	佐藤	美記	唐の太宗と貞観の治	松原	有吾
カバネと位階制との関係について	小宮	宙	観応擾乱について	望月	太郎
隋唐代の西域人の活動	栗山	由里子	南関東における埴輪についての一考察	堀野	宏之
平安時代絵巻物について	菊地	由香	前方後円墳企画論	藤田	香
阿蘇氏に関する研究	姫野	晃伊	原敬内閣成立に於ける元老の動向	神谷	智博
古代集落構造の地域的差異	田中	尚	造東大寺司造仏所に関する考察	八木	良輔
中世越後国における在り地土豪揚北衆について	横山	賢一	幕末における討幕運動思想	石井	秀樹
絹織物の発達と西方への伝播	田辺	竜子	日独伊三国同盟の外交史的意義	市野	清一
織田信長の家臣団編成について	栗田	裕敏	縄文土偶についての一考察	板本	健太郎
中世における武道の神道性について	小杉	夫美子	高野山金剛峯寺旧金堂焼失七仏の研究	中川	賢太郎
侯景の乱に見る江南社会の変容	金子	公一	近世後期の蝦夷地政策について	中田	美香
不常典について	多智	佐江子	東大寺法華堂と金鐘寺の関係について	塚本	芳幸
幕末維新期の対外関係	桑原	乾多	明治初期の啓蒙思想の歴史的意義	三浦	秀之
太平天国の列強観	小野寺	哲也	土浦藩領農村における近世後期の商品経済	石田	隆
古墳時代前期の土師器について	吉田	哲	熊谷氏の起源について	熊谷	健
商鞅変法に関する諸問題	矢部	晃一朗	ナチズムへの抵抗	笠原	瑞可
中世における「風呂」について	新井	晴美	蝦夷征伐の軍事的背景について	滝沢	岳宏
鎌倉時代における公武関係	平賀	徳子	日露戦争の外交史的意義	鈴木	健作
藤原仲麻呂政権の史的意義について	生井	望	明治期における初等音楽教育	富士盛	通雄
近世後期における外国船の来航	坂本	健二	水神信仰の考古学的考察	阿部	由紀子
			古代エジプトにおける石造建築と宗教観念	平賀	弘文

史 学 科 (Ⅱ部)

一九世紀後半のイギリス外交政策	黒澤 聖人	一〇世紀における藤原氏の政治体制	藤井 健史
ハプスブルク帝国における民族問題	山田 潤	七支刀銘文についての研究	肥後 吉実
「息長系譜」に関する一考察	椿 孝典	承久の乱について	五十嵐 裕敏
出羽国府の考古学的考察	丸山 晶子	壬申の乱における近江朝の動向について	今井 義明
アテナイの政治と社会	上野 弥生	東日本における前期古墳について	吉澤 徳和
平安朝の色彩について	守部 美木	競馬場経営からみた初期競馬の研究	板倉 博史
近世庶民教育における往来物について	蓬田 順子	聖徳太子信仰についての研究	原 真弓
盲官の組織と職務内容についての研究	松井 千恵	劉邦の生涯と漢帝国の成立	鈴木 起郎
突厥の国家と中国王朝の関係	伊藤 薫	ピューリタン革命について	磯谷 泰助
フランス恐怖政治の展開と崩壊	小林 弘枝	アメリカ独立革命の勃発	木我 稔
心礎における舍利奉安の方法	遠山 実生	昭和一〇年代における軍部の政界進出について	佐藤 勇一郎
第二帝政ドイツの「新航路」政策採用の意義	安宅 忠利	日露戦争期における国民意識について	若林 綾子
東日本弥生文化墓制の一様相	神澤 二郎	化政期における江戸町人文化	佐藤 克美
江戸幕府の成立過程	岩田 篤士	上野国における温泉開創伝説	石関 修
毛利氏の近世大名化について	米岡 潤一	フランス革命の勃発	川野 京子
縄文時代の土錘について	広田 恭博	アヘン戦争についての一考察	内田 有紀
幕末における土佐の勤王運動	児玉 安弘	江戸下町における神社祭礼の研究	浅田 努
縄文時代の配石遺構についての研究	細田 昌史	唐代律令制度の一考察	田島 清
中世ヨーロッパ都市の成立	上玉利 美江	十字軍の意義	松島 博子
ローマ帝国の衰退	春口 亘裕		

文学部卒業論文題目一覧

イギリス一九世紀末のアフリカ政策	市原美奈子	ナポレオン帝国の成立と崩壊	佐々木正勝
五四運動の一考察	塚原真砂美	中世イギリス王政の変遷	吉田彰孝
日本の私年号について(室町時代)	鈴木康司	フランス市民革命の展開	清田麻須美
漢代の東西交渉史	市川郁世		
縄文時代における有舌尖頭器について	町田季之	国文学科(Ⅰ部)	
三河一向一揆について	小林陽子	鴨長明について	渡辺聡
戊辰戦争における旧幕府軍の行動	小川和弘	徒然草について	土屋義輝
元代の知識人について	坂本裕美子	西行法師の研究	大塚直美
西日本における終末期古墳について	立川敏之	柿本人麻呂研究	猿渡義一
ドイツ第二帝政の経済政策	小笠原健郎	「雨月物語」論考	青野景子
江戸幕府政治機構の確立について	菊池貴広	大阪府の方言研究	
瀬戸内海における中世港町の研究	三宅重光	—摂津・和泉・河内を中心にして—	穂積義昭
江戸時代における農村開発と用水	竹内秀信	待遇法研究	内川和昭
秩父三十四カ所札所の石造物	岸田和生	源実朝の研究	西尾千佳
明治初期の私擬憲法について	中島督夫	「奥の細道」論	大木正人
利根川における河岸の発達と交通について	小泉修二	近世文学における女性像	小島恵
大震災以後の朝鮮人問題	高橋潔	源実朝について	吉川貞彦
埼玉県下における自由民権運動	鈴木茂	金槐和歌集研究	鈴木静子
東日本における縄文時代の再葬墓について	松本吉和	源実朝について	小菅智子
南関東地方における弥生時代集落について	高橋健一	徒然草について	藤崎信一
ヴァイキング時代の開花	千葉親平	「奥の細道」論	渡辺憲一
唐における対吐蕃政策について	海老原健司	金槐和歌集について	篠田真

古事記の研究	寺下 美智代	良寛私論	半間 希久代
萬葉集と東国	山岡 美穂	方丈記について	後藤 圭介
夏目漱石	松村 京子	万葉の歌と場	野口 昌美
源実朝について	小川 雄一	蛇性の淫 (蛇性は邪なるものなのか)	浅野 剛
堀辰雄	箱崎 敏則	滝沢馬琴	鈴木 治男
宮澤賢治	島田 篤史	立原道造	山里 優子
「雨月物語」 — 貧福論について —	小菅 朋美	近松姦通物の女たち	大崎 明子
中世文学における仏教と女性	矢部 嘉美	安部公房	藤川 貴司
卜部兼好の文学		「源氏物語」の中の女性について	大矢 哲路
— その自然観をめぐって —	佐藤 亜希	谷崎潤一郎	笠井 洋介
方丈記について	田村 雪乃	万葉歌の表現	白戸 麻奈
新古今和歌集の研究	小口 敬右	日本語の表記研究	
谷崎潤一郎	多田 道明	— 音節仮名を中心にして —	高橋 祐次
谷崎潤一郎	川島 勝	稲垣足穂	湊 健二
民間伝承と文学 — 源義仲の場合 —	伊藤 悦子	源実朝について	柳沢 利明
「竹取物語」研究	植松 明子	森鷗外	安川 敦子
平家物語研究 — 加賀・能登の伝承 —	木谷 あつ子	「竹取物語」研究	月岡 禎代
『雨月物語』における怪異の追究	野呂田 武	「貧福論」試考	刈込 厚志
「更級日記」小考	志村 こず枝	長野県長野市方言研究	井口 善隆
江戸歌舞伎の地方伝播	浅賀 瑞紀	闇の住人たち	
オノマトペ研究	磯部 美由紀	— 上田秋成『雨月物語』私論 —	波多野 こずえ
中原中也	渡部 章	『椿説弓張月』における為朝考	鈴木 岳樹

文学部卒業論文題目一覧

金槐和歌集について	田中克弥	片仮名研究（外来語表記を中心として）	石田初喜
万葉歌人の研究	橋都有理	雨月物語にみる怪奇論	小泉晶
横光利一	奥田洋子	万葉集の風土研究	山崎志帆子
萩原朔太郎	野崎哲郎	新潟県方言研究	
『雨月物語』にみる女性	佐藤真由美	—北蒲原郡中条町を中心にして—	市村玄子
『伊勢物語』について	伊藤恵美子	東京語の研究	稲葉耕一
長唄詞章の研究	鈴木義昭	秋成人間像追求	神戸綾子
万葉挽歌論	稲葉由美子	芥川龍之介	小林康記
文字の研究 — 形容詞について —	鎌田美穂	万葉集相聞歌の世界	齋藤由季
夏目漱石	新山淳子	源氏物語の和歌	松崎美保子
春郎期における北斎の黄表紙研究	齊藤知樹	夏目漱石	尾崎美佐子
枕草子研究	岡本晋	御伽草子について	平川安希子
樋口一葉	佐藤弘敏	藤原定家論	加藤薫
坂口安吾	斎藤正嗣	西行について	田島学
大江健三郎	浦島豊	蜻蛉日記	福原勉
萬葉の植物とその表現	廣瀬靖子	源氏物語に描かれた女性について	渡辺孝彦
宮沢賢治	平嶋尚子	倉橋由美子	飯野温生
夏目漱石	工藤里知子	源氏物語初期登場人物間の愛憎	吉野一彦
北杜夫	山下武夫	有島武郎	青木文雄
武者小路実篤	富永有子	遊里と文学	小川英彦
待遇表現研究		『萬葉集の施頭歌研究』	高野栄一
— 辞的敬語の歴史的変遷を中心に —	佐々木直		

東北文学の研究

—小林多喜二の作品を通じた風土性—

武者小路実篤

菊地光樹
館野文昭

国文学科(Ⅱ部)

種田山頭火

「山上憶良論」

『英草紙』研究

秋成の作品と時代背景

藤原定家についての研究

『奥の細道』論考

『雨月物語』にみる女性論

「土佐日記」論

土佐日記の国語学的研究

上田秋成考

西行について

源実朝の研究

山部赤人の研究

萬葉集の影物表現の研究

萬葉歌人論

大伴家持の歌研究

秋成と『雨月物語』

源実朝論

萬葉集問答歌論

源実朝の研究

百人一首の研究

「柿本人麻呂の研究」

西行の美意識について

宮本輝

土佐日記「とくやりてむ」考

竹久夢路

萬葉集の比喩表現の研究

『雨月物語』論

藤原定家の研究

『雨月物語』における超現実について

『雨月物語』における怪異

近松門左衛門考

英米文学科(Ⅰ部)

Charles Dickens 研究 —生涯とその作品について—

N・ホーソン研究 —その生涯と作品について—

Alice Walker の作品にみる黒人女性

杉崎紀夫

島修司

池田浩

染谷孝博

大野秀樹

川上ひろみ

倉持政博

吉村道夫

岩川仁士

小島一能

矢作信司

朝井健爾

椎昭雄

伊藤裕之

西田久美子

島田智子

細根裕子

星野由紀

文学部卒業論文題目一覧

- マーク・トウェイン研究
 —特に『ハックルベリー・フィンの冒険』について—
 川島朝彦
- W・フォークナー研究
 マーク・トウェイン研究
 —特に『トム・ソーヤの冒険』を中心に—
 小松克美
- Somerset Maugham: *The Moon and Sixpence* 研究
 小川博志
- H・ジェイムズの作品研究
 —特に *Daisy Miller* を中心にして—
 吉田智子
- アーネスト・ヘミングウェイの研究
 —『武器よさらば』を中心に—
 徳江勲
- シェイクスピア研究
 —『ロシオとジュリエット』を中心に—
 香川淳一
- James Joyce 研究 — *A Portrait of the Artist as a Young Man* を中心として—
 高島明子
- アーネスト・ヘミングウェイの研究
 —『武器よさらば』とその人物について—
 神田春彦
- Shakespeare 研究 — *Hamlet* を中心に—
 奈良原淳
- ウィリアム・フォークナーの作品について
 James Joyce の研究 — 初期の作品を中心に—
 新井田 ちあき
- 加藤 己幸
- ナサニエル・ホーソン研究
 —『緋文字』を中心に—
 田城裕子
- E・ヘミングウェイのスタイル研究
 —『老人と海』を中心に—
 山川 亜喜代
- Scott Fitzgerald and Haruki Murakami
The Picture of Dorian Gray 研究
 O・ヘンリーの短編研究
 Edgar Allan Poe とその作品
 ナサニエル・ホーソンとその時代
 Lillian Hellman の作品とアメリカ南部社会
 D・H・ロレンス研究
 —『チャタレー夫人の恋人』を中心に—
 鎌田 竜一
- Gulliver's Travels* と夏目漱石 — 比較文学的研究—
 菅野 早織
- アーネスト・ヘミングウェイとウィリアム・
 フォークナーの作品比較
 Doris Lessing 研究 — 人と作品—
 「我らの時代」の作家・作品研究 — 一九二〇年代、特に
 ヘミングウェイを中心として戦争の愚かさ、無意味さ、
 人間の命の尊さを叫ぶ作家達に呼応して—
- 橋本京美
 松澤 繁
 岡田多弘
 下田賢二
 岡崎 昭子
 中村 麻奈
 高橋 千春
 小平 朝美
- 安齊 聡

英語と日本文化の関係について

勝見健二

D・H・ロレンスにみる性描写

梶原将一

Thomas Hardy 研究

—*Tess of the D'Urbervilles*を中心にして—

林 政範

『ライ麦畑でつかまえて』を中心にしたサリンジャー研究

小泊重治

フォークナーとフォークナーの作品研究について

田中智花

Michael Moorcock の幻想世界

野沢初嘉

モンゴメリー研究

—『赤毛のアン』を中心に—

小椋起世美

George Orwell 研究

—その生涯と作品について—

阿部泰之

シェイクスピア研究

—『ヴェニスの商人』を中心に—

堀川 太

Oscar Wilde : *The Picture of Dorian Gray* 研究

鈴木 徹

N・ホーソン研究

—『緋文字』を中心に—

長沼由恵

『赤毛のアン』にみられる作者モンゴメリーの人生観

佐藤宏子

W. Shakespeare 研究

—*Hamlet* を中心に—

深澤 隆

ヘミングウェイの作品と生涯について

宮城雄一

マザー・グースについて

加藤 恵

William Wordsworth の人生観と作品について

佐口利克

Charles Dickens : *Christmas Carol* 研究

富成 敏

M・ミッチェル

—『風と共に去りぬ』とその時代背景—丸山千絵里

ルイス・キャロルと二つのアリスの物語 西嶋千尋

Emily Brontë 研究 —*Wuthering Heights* を

中心として—

山口和美

ナサニエル・ホーソンとその時代背景

山口健久

異文化コミュニケーション

—日米間を中心に—

上條 あづさ

ヘミングウェイ研究 —『武器よさらば』における

時代背景と戦争批判の考察論—

鈴木祥文

日本語と英語の表現の比較研究

板場真理子

W・Shakespeare : *Othello* 研究 (嫉妬の悲劇)

佐藤美和

文学部卒業論文題目一覧

- サマーセット・モーム研究
 —『月と六ペンス』を中心に—
 Charlotte Brontë の生涯と作品
 フィリップ・ロス研究
 Oscar Wilde 研究
 アーネスト・ヘミングウェイ研究
 —『武器よさらば』を中心に—
 現代英語教育の問題研究
 —より良い英語の学習法—
 Shakespeare : *A Midsummer Nights Dream* 研究
 John Donne の詩について
 J・D・サルンジャー研究
 オルコットと『若草物語』の背景について
 シェイクスピア：『マクベス』研究
 James Joyce 研究 —*A Portrait of the Artist as a Young Man* を中心として—
 ヘミングウェイ：『老人と海』の作品研究
 Thomas Hardy 研究 —人と作品—
 フィッツジェラルドの作品と彼の人生について
 現代 Feminist 批判
 —Jane Austen の作品を通して—
- 織茂 靖子
 安達 昌代
 石橋 愛子
 菊池 英俊
 林 修身
 加藤 久満
 梅澤 かおる
 松本 吉晴
 榎 保幸
 本宮 祐子
 村山 法子
 中村 克之
 小野 恭子
 米永 知子
 飯村 秀文
 北村 隆幸
- ホイットマン研究
 ヘミングウェイ研究
 —作品中の背景、物、思想がもつ魅力について—
 マーク・トウェインについて
 マーク・トウェインの
 『ハックルベリー・フィンの冒険』について
 バラッド研究
 —D・G・ロセッティを中心として—
 エドガー・アラン・ポー研究
 ヘンリー・ミラー研究 —『北回帰線』を中心として、
 アメリカ文学観とその経験的影響—
 Lafcadio Hearn 研究
 フォークナー研究『サートリス』
 —特殊な地域アメリカ南部という視点から—
 J・D・Salinger 研究
 —『ライ麦畑でつかまえて』を中心として—
 リチャード・ライト研究
 —『アメリカの息子』を中心として—
- 大田 正浩
 酒井 仁哉
 渡村 のりこ
 川邊 寿子
 服部 博史
 田村 健
 浦辺 俊行
 前田 隆
 長野 庄吾
 谷田 洋介
 加邊 勝也

“The Novel Dénoué”を通して見た

Willz Cather 研究

宿谷 知美

Lawrence Durrell: *The Alexandria Quartet* 研究

—*Justine* を中心として—

寒河江 麗子

ヘミングウェイ研究

—戦争と平和をテーマとして—

石井 亜紀子

小泉八雲にみる異文化へのあこがれ

森 健太郎

E・A・Poe の思想における至高の美学

—The philosophy of composition—

逸見 浩司

Sir Arthur Conan Doyle 研究

マーク・トウェイン研究

正岡 勝利

『トム・ソーヤの冒険』を中心に

末永 尚也

ジェームズ・ボールドウィン研究

—『もう一つの国』を中心に—

谷 正之

不定詞の歴史とその用法について

武田 奈津

アガサ・クリスティの生涯と作品について

佐川 京子

『アンクル・トム』研究

白川 哲子

Charles Dickens の小説とその時代背景

東 千亜紀

英語単語の形成にかかわる社会的背景

関根 美智代

ジェームズ・ジョイスの文学の根底を探る

各務 郁夫

—『ユリシーズ』を中心に—

小野田 葉月

トルーマン・カポーティについて

小野田 葉月

日米の異文化コミュニケーションについて

アーサー・コナン・ドイルの研究

平野 彰子

—ホームズ・シリーズから—

柳生 大介

スコット・フィッツジェラルド考

—『グレート・ギャツビー』を中心に—

齊藤 次郎

James Joyce の初期の作品について

野口 宏

N・ホーソンの作品と思想

西野 篤生

ヘミングウェイ研究

—『誰が為に鐘は鳴る』を中心に—

野口 真

ジャズエイズの中のフィッツジェラルド

伊藤 集一

ジム・モリスンについて

吉田 誠

—彼の生涯と作品—

マーク・トウェイン研究

吉田 誠

—『トム・ソーヤの冒険』を中心に—

米語と英語の比較

割田 彰

マザー・グースを中心とする伝承文学の研究

後藤 茂男

田中 裕生

田中 裕生

田中 裕生

田中 裕生

W・シェイクスピア研究

伊藤 国

—『ハムレット』を中心として—

伊藤 国

英米文学科(Ⅱ部)

文学部卒業論文題目一覧

サリンジャー研究		テネシー・ウィリアムズ研究	
—『ライ麦畑でつかまえて』を中心として—	片岡 由紀恵	—作者と作品の性質について—	平原 励二
J・D・サリンジャー研究		John Steinbeck『怒りの葡萄』の研究	和田 早起子
—特に NINE STORIES を中心に—	岩間 美文	ヘンリー・ジェイムズ研究	
Oscar Wilde : Salomé 研究	梶川 友栄	—『ねじの回転』における作品の構成—	大沼 善乃
ヘミングウェイ研究		ヘミングウェイ研究	
—特に『老人と海』を中心に—	山本 大輔	—『誰がために鐘はなる』について—	西川 智代
Hemingway の研究		ヘンリー・ジェイムズ研究	
—『老人と海』を中心に—	表 正清	—『ねじの回転』を中心にして—	山田 千秋
Heinlein : Stranger In A Strange Land 研究	津金 賢一	黒人文学について	
Shakespeare : Macbeth 研究	大和谷 真功	—リチャード・ライトを中心に—	矢作 英樹
J・D・Salinger 研究		Gulliver's Travels 研究	藤沢 慶治
—The Catcher in the Rye を中心として—	石川 幸男	スコット・フィッツジェラルドの作品	
ウィリアム・ワースワースの詩を通して		『華麗なるギャンビー』について—	広橋 良映
見た人物観・自然観について	田中 康朗	R・B・Middleton 論	
マーク・トウェイン研究		—死についての考察力をめぐって—	大野 八千代
—『トム・ソーヤの冒険』を中心に—	石田 知宏	Thomas Hardy : Tess of the D'Urberville 研究	
William Shakespeare : A Midsummer Night's		—ヨーロッパ精神文化の崩壊について—	青山 泰顕
Dream を中心として	田口 勇一	William Shakespeare : King Lear 研究	吉田 勇二
		Edgar Allan Poe 研究	宇野 宏
		Jack Kerouac : On the Road 研究	小泉 雄嗣
		Lafcadio Hearn と日本	田中 仁

ケン・キージーの作品

— 『カッコーの巣』を中心に—

梶原 亜由子

コナン・ドイル研究

平川 博幸

Ernest Hemingway の研究

— 『武器よさらば』を中心として—

出口 善一

Shakespeare : *Julius Caesar* 研究

巢山 政紀

ヘンリー・ジェイムズの『ねじの回転』研究

角田 奈緒子

Edgar Allan Poe 研究

— その作品と人間像について—

山田 節子

Preliminary Teaching of English by Using

Beatles' Songs

菅 保浩

フォークナーの作品研究 — “A Rose for Emily” を

中心に、その死生観について—

依田 まつ子

ヘミングウェイ研究

— 『老人と海』を中心に—

飯塚 民夫

エミリー・ディキンソンの詩の世界

E・ヘミングウェイ研究

佐藤 満

— 『武器よさらば』を中心に—

長嶺 浩一

E・ヘミングウェイ研究

— 『誰がために鐘はなる』を中心に—

瀬尾 貴之

リリアン・ヘルマン研究

— 『子供の時間』を中心にして—

竹本 信行

マーク・トウェイン研究

— ハックルベリー・フィンとトム・ソーヤの比較—

星 享

社会学科(一部)

労使関係の日英比較

嶺井 雄二

人口の郊外分散

阿部 善之

高齢者の住生活問題と福祉

今井 教好

情報社会におけるコンピュータの機能

岡野 菜穂子

老人の生きがい対策

古賀 宣也

現代社会における交通問題

石曾根 章紀

地方の文化

古田土 直樹

快適環境論

丸山 富美

生活環境論

渡辺 康行

日英労使比較

千葉 美和子

生活構造の地域比較

吉澤 美保子

高齢化社会における老人の扶養と生きがい

大森 孝文

自殺論

伊藤 綾子

イギリスの労使関係

清水 孝雄

余暇論

新堂 昭仁

文学部卒業論文題目一覧

労働時間の短縮とゆとりの創造	佐藤博喜	老人就労の問題と課題	井原浩善
在宅福祉サービスの現状と課題	朝倉正晴	地方都市論	宮崎優
農村における結婚問題	鈴木仁	資源と環境 ゴミ問題を中心として	宮崎真理子
社会開発と地域行政		地方都市論	安藤忠和
――幕張新都心を例として――	佐藤研二	きょうだい関係と性格形成	中塚毅
日本の医療福祉の展開と考察	高橋和也	性役割の社会化	児玉泉
青少年非行	山崎雄司	現代青年の生活と意識	佐藤美穂
都市交通論	松井孝司	高齢化社会における定年と家族	草川康彦
高齢者のADLとリハビリテーション	谷川和昭	日英の労使関係比較論	永井康裕
日本とアメリカの文化比較	稲田みどり	差別問題の構造	三山里枝
日英労使関係制度比較論	渡部眞也	社会福祉の思想と歴史展開	渡辺大路
日英労使関係	蛭田淳一	組織内コミュニケーションにおける構造と機能	
情報化社会における流行現象の創出	島田加代子		富松洋子
老人の保健・医療	小川祐幸	日本の人間関係論	武田誠司
地域活性化論	宮本一彦	地方都市論	大石和孝
流行の社会学	菊地秀光	投票行動における日本の政治風土	高橋一哉
現代社会における広告	伊藤奈美	余暇論	船越賢一
日英の労使関係	井川秀則	住生活論	佐藤匡乙
労使関係の日英比較	長富いずみ	現代の配偶者選択における背景と実情	松浦史岳
農村地域における家族と労働の問題	斎藤恒一	親子関係と子どもの人格形成	本木敬洋
子どもの社会化と自立	柴田孝	老人福祉政策論	吉岡永
マスコミ報道における環境問題	上條佳美	福祉マンパワーの問題と課題	伊東康

流行論	箕輪 朋子	日本人の行動様式の特性	吉田 耕司
災害が引き出す人間の未知なる行動と意識	細田 智仁	児童を取り巻く生活環境の変化とその影響力	
地域活性化の課題と方法	堀越 真一	〔家庭・地域社会について〕	高木 聡
環境破壊の社会学的研究	石川 清	現代社会におけるニューメディア	河合 晃
地域社会における老人福祉システムとマンパワー	辻井 直也	千葉の社会学的研究	菅原 英彦
都市と水	小板橋 恵美子	余暇論	上野 浩一
カウンター・カルチャーとしてのロック音楽	斉藤 竹彦	都市地域の老人福祉	鈴木 力雄
情報社会における大衆操作	石野 博	老人の自殺	松井 隆春
余暇論	品田 明子	「鬼」についての研究	真坂 隆太郎
地域社会におけるリゾート開発の諸問題	畠山 敏幸	流行と社会的影響	
計画都市論	斉藤 超	―オグリキャップの人気を例として―	佐々木 義広
日本人の天皇観	澤田 順子	地域社会成立の条件と過疎問題	町田 長久
流行の社会学的研究	藤木 万里	資源再利用論	布施 一成
日本の労使関係論	森 敦紀	現代社会における疑似環境の研究	鈴木 紀子
人口妊娠中絶の諸問題	菅田 敦子	湾岸戦争と情報操作	風間 健治
都市交通と生活構造	金子 泰三	消費者に及ぼす広告の影響	小貫 和洋
都市の居住性	能登 和彦	日米比較文化	菅野 由紀
広告の歴史と現状分析	萩原 正仁	若者文化とポピュラーミュージック	安藤 優
大衆娯楽の研究	常松 完二	パーソナリティ形成	石村 友香
東京の通勤交通	石澤 俊英	プロレスリングの社会学的研究	竹田 実
		余暇の社会学的研究	谷 森 了
		祖霊崇拝の研究	渡辺 哲浩

文学部卒業論文題目一覧

リゾート開発の諸問題	鈴木雅博	家族形態の変遷と問題	佐藤美由紀
地方と都市の生活比較	児玉謙一	高度消費社会における価値の構造	勝木田裕樹
広告文化論	武居和彦	地方都市における老人福祉施策	新井友子
都市の歴史社会学	松本繁樹	川崎の社会学的研究	藤田英朗
景観の社会学	安澤禎子	東京論	石垣健史
新聞の犯罪報道	中村信彦		
家族関係の変化と青年の社会化	阿部和之	社会学科(Ⅱ部)	
現代社会におけるマス・		現代社会におけるゴミ問題	大門由紀子
コミュニケーションの影響について	遠藤弘一	現代日本人の行動様式の特徴について	若林俊秀
女性の就労と家族教育の変化	能城君代	寝たきりの老人の保健・医療・福祉	郡司信幸
子どもと遊びについての一考察	大熊信成	クルマ社会の社会学	朝比奈幸治
シングルの増加と家族	乗松よし江	障害老人の社会福祉サービス	福田良彦
障害老人の福祉施策	渡邊一寿美	福祉サービスの現状と問題	佐々木春江
都市生活とアルコール依存	吉田美幸	都市化の現代的視点	今野早苗
比較文化論	鈴木森貴子	精神保健とボランティア活動	中村尚義
麻薬の社会病理学	山本実	障害児教育の現状と対応について	川上和子
企業広告が消費者に及ぼす影響	岩本雄一	心身障害児福祉の現状と教育問題	池田智
家と先祖崇拜	山崎秀之	老人福祉の現状と課題	斎藤靖明
大衆社会論	木村優子	老人の保健と福祉	高山俊也
現代社会における日本人の均質性	小久保昇	障害者の社会適応について	太田勝久
カリスマの社会的機能	松原直志	現代の食文化について	久保田礼治
共働き家族の子育て	後藤吉範	勤労女性と家族の養育について	鈴木正美

現代若者の意識に関する研究	大木孝志	高齢化社会の研究	光林孝弘
視覚障害者福祉の現状と問題		在宅障害老人の看護と福祉	安藤邑恵
—福祉サービスにおける盲導犬—	松本好則	社会学から見たカウンセリングの発達	繁田千恵
現代社会における情報の機能について	福島一良	要重介護者の医療と福祉	色部恭子
犯罪者の心理とその社会的背景	田中徹夫	千葉西部一地域における民俗調査	桑原弘雄
現代社会における環境問題	下村昭吾	市民生活とリサイクル活動	大畑英郎
現代の労働問題		余暇論	川手慎司
—過労死問題を中心として—	川野裕子	集団生活と個性について	
中小企業の研究	岡山了	—中学校教育における諸問題—	田中幸治
現代社会における広告の影響について	手塚一晶		
イギリスの階級制度	大脇厚	地理学科(一部)	
日本人の余暇活動に関する一考察	西倉裕之	大田区における再開発計画	杉山哲也
“世紀末”と大衆文化	佐藤清美	日本の風土病研究	小荷田憲政
スポーツの社会学的考察	小林成年	富岡製糸工場と富岡町との関係史	山口和哉
青少年の非行傾向と意識の変化	古市健	都市中小河川における水辺景観	岡安聡史
関東地方と関西地方における文化的差異について		公共文化施設の立地とその集客圏	疋田卓
	緑川香奈子	秋田市と湯沢市における酒造業の展開	水野聖和
女性の社会的役割と家族内の役割について	山村範子	日立市の都市誌について	本田好則
大量消費社会の研究	山本光彦	東京周辺における鉄道の相互直通運転について	
障害者のリハビリテーションについて			
—スポーツ活動について—	和田原	根岸線沿線における都市的発達	松下由美子
心身障害児の福祉と教育	川越政紀		田中直樹

文学部卒業論文題目一覧

横須賀市の都市史				
— 軍港から平和産業都市へ —		西田	豊	
都電荒川線沿線地域の景観区分		横溝	千鶴	
国分寺崖線の湧水について				
— 世田谷区内成城を例にして —		星野	俊幸	
東京都における出版事業の存立形態と 情報生産のメカニズム		清水	大介	
渡良瀬川下流域の地形		関口	広和	
都市の発達における祭りの必要性		辻	真	
所沢市における都市化の進展と土地利用の変化		木下	勇	
相模野台地の段丘地形について		渋谷	亜希子	
KÖPPEN の気候区分による日本の気候型の経年変動		森下	千穂	
新潟市の商業地域の性格		小原	剛	
秋葉原電気街形成の諸要因		青木	伸一	
埼玉県南部の諸都市の発達と現状		増田	正直	
桶川市の都市発達誌		田中	宏二	
北上山地外山川流域の地形発達について		中村	拓也	
下総台地西部の地形		神谷	俊明	
利根川中流域の地形		宮平	建	
東京・木場移転にともなう旧木場地区の木材業の変容		田北	康介	
ロードサイドビジネスの分布とそこにみられる地域性				
多摩川下流域の産業と生活環境		藤巻	嘉寛	
東武東上線沿線の都市的発達		川村	博文	
川越市における町並み保存		小泉	隆	
民家景観と風土		高林	明裕	
静岡市中心市街地における商店街の変容		霜鳥	克彦	
東京西北部朝霞市における土地利用の変化		佐々木	暢子	
新興住宅地と旧住宅地の比較		小松	久美	
東京の下町の地名と行政区域の変更		関根	強志	
大分県におけるカボス栽培地域の性格		福澤	正希	
浅草の婦人靴生産地域		久多良木	孝始	
溝の口駅周辺における商業地域の研究		菅谷	亜希子	
高山地帯における偏形樹の研究		野村	孝道	
湖西線沿線における地域変容		大滝	勝	
巣鴨とげぬき地蔵の観光地理学的研究		後藤	雅章	
国分寺崖線の湧水について — 大蔵住宅、静嘉堂文庫、 服部氏宅における湧水量と降水の変化特性について —		厚川	和俊	
世田谷区野川周辺の不透水物質域の変化と地下水位の 相関性について		植木	宏和	
観光地日光の地域診断		赤堀	文男	
		田中	紀子	

新潟県越後湯沢町における観光産業の性格	枝村直	横須賀市中心商業地帯の立地変動	貞照典子
東京都心における酒場の性格		熊谷市と太田市の中心性の比較	黒瀬勝裕
—新宿、六本木を例として	前島勝憲	降雨と土壌水における pH の変化について	小林英毅
池袋・サンシャイン通りの変革	高橋展弘	都市における公園緑地と住民	小倉ちよ
池上本門寺の門前町について	五十嵐江里	長野県大町市における観光と交通の関係	山崎義幸
東京都目黒区における公園の地域的特色	山田健司	鹿児島県国分隼人地域における	
板橋区における医薬品工業の立地	講神繁	テクノポリス計画と地域的変貌	石原田高広
千葉県小見川町の現状と地域問題	齋藤学	都市化に伴う池袋・西新井間の交通体系の変化	
男鹿半島目潟の火山地形について	佐川保	溶存酸素と水温の関係について	田口智貴
港区と江東区の観光地診断	菅沼淳	東京都の代表的公園における植生分布の比較について	棟方和典
文京区における文化財地域	中根康之	金沢市の坂道空間の変化と再生	川上敏弘
市川市における梨生産地域の形成と構造	倉木盛満	東京都練馬区における地域再開発の特色	曾我部秀宣
品川区における酸性雨の現状について	澤村和裕	茅ヶ崎市におけるマリンスポーツの特性	森本法義
降雨と地下水との関係について	花本孝治	東京湾南西部の遊漁業	城田英幸
都心部の CO ₂ 濃度の観測と考察	河島洋子	鶴見川における水質について	別所正幸
秋留台地東部の湧水の現状	吉田武司	東京都品川区における住宅地の特色	宮崎雅広
九州・都城市の都市誌	坂元昭児	大磯丘陵の地形学的研究	三原晋一郎
狭山丘陵の地形発達	浅野尚之	台東区の高齢化の進行とその対策	石原豪
福島盆地の地形発達	富永賢治	伝統工芸の人形づくりと街との関係	加藤栄隆
朝霞市を流れる河川の水質について	平岡和広	—埼玉県岩槻市の場合—	
川越市の市街地の発達	常盤政明		菅野秀樹
中野駅周辺における商店街の地域的特色	勝山正樹		

文学部卒業論文題目一覧

磐梯五色沼湖沼群の2・3の湖沼の水質調査	古澤知之	国分寺市の都市発達について	佐藤淳
船橋市における駅周辺地域の土地利用	渡辺典子	海水温の地上気温に及ぼす影響について	黒田浩二
千葉市における新開発地区と再整備地区の比較	鈴木眞哉	甲府盆地東部におけるぶどうの生産販売形態	遊佐順和
鎌倉市における寺院の分布	高田伸樹	河川の景観 — 巴川の変化 —	大橋正佳
東久留米市におけるベッドタウン化と緑地保護	野崎裕史	青森県南東部馬淵川・新井田川流域における 言語地理学的研究	巻千佳子
横須賀市の都市機能	安部孝佳	寒河江市におけるサクランボの生産・販売形態	金山泰
浦和の地下水について	高橋豊	東京における盛り場の発達	中山大輔
大分県別府温泉における観光産業の特色	立川英治	磐梯五色沼湖沼群の堆積物研究	三川哲史
降水が湧水に与える影響について	齋藤美保	磐梯五色沼湖沼群の陸水学的研究	蓬田勝広
松本市における農業の変容	村山美佳子	能代平野の段丘地形	福原暢允
広島総合卸センターに関する研究	岡本恒	東京・神田地区の発達誌	金子純子
徳島県の米栽培における生産・販売形態	三宅直子	銀座における商業の特色	甲斐浩司
都市の気温について	下元由美	千葉県印旛郡市における行商人輩出地域の変貌	柳善貴
大宮市の地域的特性について	増淵真帆	酒匂川沖積低地の地形	脇賢裕
東京都区部における公園の分布とその地域的特色	内田匡彦	調布市における新旧路線商業の比較	野口康平
富士山東麓三島地区の湧泉の現状	西ヶ谷源市	武蔵小山商店街と戸越銀座商店街の差異	藁科和義
荒川上流域の地形発達	山崎正幸	国分寺崖線大蔵団地における降水と湧水の相関性について	
江戸川区鹿骨における花卉栽培について	柴木修		左小平

東急田園都市線沿線における商店街 中野 雅通
 浅間山火山体における侵食地形について 佐々木 真
 米子市皆生温泉に関する観光地理的考察 古川 秀生

地 理 学 科 (II部)

東京湾における埋立地の土地利用の変遷 松村 徹
 新潟県越後湯沢町におけるリゾート開発の変遷

原 正 数
 マレー半島の外国食文化 馬場 秀雄
 宅地開発に伴う地形改変 斉藤 剛志

猪苗代湖北岸地域の観光地化について 佐藤 勝哉
 墨田区におけるニット産業の存立形態 風戸 大輔
 岐阜環状線沿いのロードサイドショップの立地展開 今井 栄二

茨城県守谷町の地域構造 伊藤 伸一
 千葉県松尾町の土地利用 菅井 慎人
 千葉県船橋市における沿岸漁業について 菊地 一真

埼玉県深谷市における住宅地化の進展について 中 伸行

目黒川流域(居木橋〜五反田大橋)の再開発 石川 朋久
 国立市における景観イメージの構造 近藤 隆

関東山地の多摩川流域における地形学的研究

谷口 智雅
 逗子市・葉山町におけるレジャー・リゾート開発と
 地域の変容 沼田 光弘

日光及び伊豆高原におけるペンションについて 小山内 広幸
 東京都練馬区における農地の変貌について 宇佐美 勝利

神奈川県川崎市における花卉園芸農業の変化 榎 昌典
 東京城南地区におけるスポーツ施設について 品川 謙

埼玉県越谷市における人口動態について 小出 芳明
 函館市における観光客の動態と観光イメージ 奈雲 誠

東京都区部における「地方新聞支社」の立地展開 堀 哲哉

JR京葉線全通に伴う新浦安駅周辺地域の変貌について 塩野 康二
 東京都足立区における下水道の変遷 柴田 高志

市原市におけるゴルフ場の立地と周辺住民の対応 秋葉 朝生
 駒ヶ根高原における観光化について 有賀 仁志

文学部卒業論文題目一覧

- | | | | |
|----------------------------|--------|-------------------------|-------|
| 東京都内における名画座の立地の形態と変貌 | 内藤 雄一郎 | 狭山丘陵における茶栽培の形態について | 針田 肇 |
| 千葉県船橋市の人口について | 蟻川 和正 | 加住丘陵、草花丘陵の地形発達について | 石井 正純 |
| 東伊豆町における道路の変遷と沿線の変容 | 小田巻 滋 | 地形図作業による秋川流域の地形的研究 | 松本 浩二 |
| 高校の校歌を通してみた兵庫県の風土性 | 柴田 敏之 | 東京ベイエリアにおけるホテル競争 | 荒川 優子 |
| 関東山地における多摩川流域の計測的地形研究 | 城 圭子 | 「麻布十番商店街」と「神楽坂商店街」の比較 | 立野 明代 |
| 千葉県浦安市における都市化 | 山田 一則 | 住宅開発と商店街の活性化に関する比較研究 | |
| 三浦半島における交通体系の整備と行楽客の行動形態 | 倉田 伸一 | ――京浜急行能見台駅・富岡駅前商店街の場合―― | 八張 浩一 |
| 三浦半島南部における波蝕棚の地形学的研究 | 門脇 信 | | |
| 新潟県巻町におけるメロン栽培地域の形成と発展について | 山下 公幸 | | |
| 八戸市における水産加工業の立地 | 横岡 諭 | | |
| 沖縄県恩納村におけるリゾート型観光地形形成について | 上江洲 薫 | | |
| 埼玉県所沢市における森林の減少と残存形態 | 村山 博一 | | |
| 伊勢原市における環境評価 | 吉原 崇夫 | | |
| 湘南海岸における観光・レジャー地域の研究 | 菊永 真 | | |